

自己評価の結果について

令和4年度

学校法人旭川カトリック学園 天使幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己肯定の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切にしたい教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と教師間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・モンテッソーリ教育による自主選択活動を通して、人生の基本である自由・責任・集中力・自立心を養う。
- ・3・4・5歳縦割りクラスの中で、思いやり、尊敬、自他との調和を体得し、社会性を育てる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・保育カリキュラムは、カトリックの教えを基に教育目標を立て作成している。また保育者間で園児の発達や成長などを話し合い、園児一人一人を把握し、保育計画や準備を行っている。・モンテッソーリ教育を取り入れ、園児が主体的に活動に取り組んでいけるように環境を整えている。・3～5歳の異年齢縦割りクラスでお互いに尊重し、思いやりの心が育っていけるよう環境を構成している。・今年度3クラス編成から2クラス編成へとクラス替えを行ったが、子どもたちが安心して過ごせるように保育者は子どもの姿をしっかりと把握し気持ちに寄り添い見守りながら援助してきた。・今年度より週1回の午前保育を止めて毎日一日保育とし、毎日給食選択制とし、家庭のニーズに沿っていけるように努めている。・人形劇やマジックショーなど観覧できる機会を作り、園児の感性を豊かにすることにつなげてきた。

<p>2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文部科学省からの衛生マニュアルに従い清掃・消毒に努めている。 ・ 園児の健康的な生活を守るため、常に園医と連絡をとり指導をうけている。各家庭にも検温の協力を頂いている。また、マスクの着用については着用するかどうか各家庭で判断できるように選択制とし、マスクを着用する園児について名札にシールで色分けをして教職員で把握している。 ・ 懇談会や参観日等の保護者参加の行事は、日程や人数制限を行い、密を防ぎながら保護者が園の様子を実際に見ることができるよう設定した。 ・ コロナ禍になり数年中止していたカレーパーティーやモンテッソーリ教育の料理の活動は、感染対策をした上で再開した。子ども達は楽しんで参加し、良い経験をすることができていた。 ・ 従来の未就園児クラスよりさらに年齢の低い1歳6か月から参加できる『おひさまクラブ』を作り、月に3回程度活動を行うことで子育て支援につなげていった。 ・ 預かり保育はコロナ禍のため就労の方の園児が対象とされていたが、夏休み・冬休みの期間は保護者がリフレッシュしたいという理由での預かりも受け入れた。
<p>3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の性格や個性を把握し、日々の成長に喜びを感じ、良き保育者として成長できるように努力する。 ・ 園児のことや、クラスの出来事など教職員間で共通理解を深めるために、報告・連絡・相談をし、一つのチームとして、互いに協力し助け合う。 ・ カトリック幼稚園の教職員として、保育時間外でも保育者としての自覚と責任をもって行動するように心がける。
<p>4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月発行する園だよりや年3回の学年ごとの懇談会で、子ども達の様子や園の考えを保護者に分かりやすく伝えていくように心がけた。また、園への要望など保護者のニーズには丁寧に耳を傾け、園の教育方針や事情を理解していただきながら検討し、対応している。 ・ 今年度から年に4回クラスだよりを発行し、写真などでクラスの様子を知ってもらい、園生活の様子を伝えている。 ・ ホームページのブログ発信の日を決め周知し、定期的に園生活の様子を保護者に伝えている。

<p>5 地域社会との連携</p> <p>地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年訪れていた円山動物園や八紘学園のりんご狩りだけではなく、保護者からのおすすめの公園などを聞き取り、保育者が新しい場所を事前に視察し、定山溪ファームのいちご狩り、丘珠緑地、伏古公園などに行き、園外保育を楽しむことが出来た。 ・ 年間を通して14回の園開放を行い、地域の未就園児親子が遊ぶことができるように設定した。 ・ 東区幼保小連携推進協議会議に参加し、小学校との幼少連携を進めていくための話し合いを行った。小学校の先生に園の様子を見学に来てもらった。今後も連携を深めていく。
<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ モンテッソーリ教師養成コースで勉強し、理論や実技を学んでいる。 ・ コロナ禍のためオンライン研修を利用して日本モンテッソーリ協会(学会)第 54 回全国大会に参加し、モンテッソーリ教育の専門性を高められるよう勉強した。その他、北海道カトリック幼稚園教職員研究大会、札幌私幼研究大会の全体講演会や、札幌市幼稚園新人教諭研修、特別支援研修、東区幼稚園研修、リーダー研修会などにもオンラインや対面での研修に参加した。 ・ 夏・冬休みに予定していた園内研修は、日々の園内消毒、保育活動や行事内容検討等の職員会議の対応により回数が少なくなってしまった。
<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一年を振り返って各保育者は自己評価を行った。結果は年度末のクラス代表の保護者で構成される役員会で伝え、学校関係者評価をもらい、ホームページで公開している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評価の主旨や取り組むべき課題について自己点検を行い、日々の保育を振り返って見直すことができた。 ・ コロナ禍の中でも子どもの育ちのために今できることを考え、教職員全員でチームとして、よく話し合い、幼児理解・環境構成・指導計画の改善につなげていくようにする。 ・ 今後も保護者、様々な専門家との連携をとり、学びを深めて、信頼関係を構築するように努める。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
-----	-----------

<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯対策として、園児・保護者・教職員にとって安全な環境であるために玄関電気施錠を行い外部からの侵入者を防いでいる。 ・ セコム防犯システムに加入し、外部からの侵入者を防ぎ、玄関や各部屋からの侵入の対策を行う。園児や保護者、教職員が安心して園生活を行えるように設置した。 ・ 警察や札私幼から提供される不審者情報には速やかに対応する。 ・ 緊急時に備え、園内にAEDを設置している。AEDの使用など緊急時の研修を令和5年4月に行う予定であり、教職員全員で対応できるようにする。 ・ 消防法を踏まえて施設設備の安全管理に努め、年2回の避難訓練(火事・地震)を行った。また、災害時のため、全園児分のアルミブランケット・保存用ビスケット・飲料水を備蓄している。 ・ バスの置き去り防止のために、バス乗車のマニュアルを再検討し改訂し、全職員で把握し防止に努めている。園児にもバスのクラクションの訓練を行い、非常時に対応できるようにしている。また来年度はバスの安全装置の義務化に伴い、バスの設備を整えていく。 ・ 毎朝担任が点呼し出欠確認を行い、その後クラスの当番が出欠を園長に報告し出欠ボードと照らし合わせるなど園児の出欠の把握を徹底している。 ・ 園児の命を守ることを最優先に考え、文部科学省・教育委員会からの指導、状況把握や情報収集などを基に感染拡大防止対策を実行していく。 ・ 災害時等保護者への緊急連絡のため「セコム緊急メール」を引き続き活用してきた。今後はドコモの「どこですcar」によるバスロケサービスのメールを利用し、保護者に迅速に連絡が取れるように整えていく。 また、保護者から要望のあったバスの運行情報を伝えるドコモの「どこですcar」によるバスロケサービスを導入したことで、保護者の待ち時間などの負担を軽減していく。
<p>特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別な支援を要する園児や、発達に気になることがある園児に対しては、保護者と子どものことへの理解を深め話し合い、東区幼児教育支援員、各関係機関と連携・協力しながら指導計画を立て、援助している。今後は教職員でも援助について具体的にケースワーク会議を行い、協力して体制を整えていくことを検討している。また、発達と学びの連続性を確保するため小学校との連携を密接にしていく。 ・ 特別支援教育に関する研修を受け、日常的な保育の場面で活かせるように努めていく。
<p>園に対する保護者の満足度の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の声にしっかりと向き合い、丁寧に対応していく。昨年度に比べ定期的に懇談会を実施できたが、参加した保護者のみへの情報提供となってしまうため、紙面や様々な機会を作って保護者への発信や保護者の思いを聞く機会を作っていく。また、クラス懇談会では子どもの成長を分かち合った。 ・ 行事など保護者が園に来た際に、保育者が保護者に園の活動の様子を伝え、保護者からは家庭の様子を聞くなどコミュニ

	<p>ケーションをとれるように努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者に「夏休み・冬休みの様子」や「卒園によせて」を書いてもらい、園長・担任が読んで、子どもの家庭での様子や日々の成長、保護者の思いを理解していく。また、昨年に引き続き卒園児・在園児にアンケートを実施していき、保護者のニーズを知り、今後のより良い園づくりにつなげていく。
--	---

6. 学校関係者の評価

各組・各学年のクラス代表の方に、本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想をいただきました。

1. 保育の計画性

- ・ 未就園児クラスからモンテッソーリ教育を体験出来るので、年少で入園した際にも戸惑う事無く園生活に馴染めていると思う。
- ・ 縦割り保育によって、年長、年中のおしごとを同じ部屋で見ることによって、憧れの気持ちや目標を持てるようにしている。
- ・ 年齢、月齢によって出来る動作、目標とする行動、子どもが自ら考える過程を教師がよく観察し、サポートしている。
- ・ 行事では体育、音楽、手話、宗教等様々な要素を取り入れ、健全な心を育てる教育をしている。
- ・ モンテッソーリ教育や縦割りクラスでは、自主的に活動することや異年齢でお互いを尊重し、思いやる心が育っていると感じる。
- ・ クラス編成があったが、園や先生達の取り組みのお陰で、すんなりと新しい環境に馴染み楽しく通えていると思う。
- ・ 毎日1日保育になり、給食を選択できるようになったので、家庭では助かることが多いと感じる。
- ・ 人形劇やショーの観覧の機会ができ、園児達には良い刺激となり、楽しめていると感じた。

2. 保育の在り方及び対応

- ・ 感染症対策をとりながら、子ども達の交流や活動を止めないように、保育していただきました。「おひさまクラブ」のような低年齢の子どもとも交流の場をつくることによって、子どもと親の安心できる場が増え支援が広がりとても良いことだと思います。
- ・ 制限がある中、どのようにすればコロナ禍前の園生活、行事、モンテッソーリ教育に近づけていけるのか・・・ということを常に意識し、感染予防行動を講じながら、保育をしていただけていると感じています。
- ・ 近所の公園へ行っても、遊んでいる親子が少なかった経験から、おひさまクラブのような未就園児クラスがあることは、知り合うきっかけともなり、子育て支援につながる取り組みだと思います。
- ・ 長期休み時の預かり保育は、一日中親子で過ごす時間が長くなってくると、子どもにとってのリフレッシュにもなるようです。

3. 保育者としての資質

- ・ 子どもに何かあれば電話をくれるので安心して預けている。
- ・ 定期的な保護者会での先生のお話、園だよりやブログで情報発信してくれるのは楽しみです。

- 朝の園長先生のご挨拶やバスの送迎の対応など、一人一人に向けてきめ細やかな対応や保育をしてきている。
- 子どもたちのやりたいことを引き出して、やる気と成果に繋げてきている。
- 保護者と会った時は、出来るだけ子どもの情報を伝えようとコミュニケーションをとってくださる姿勢があり、素晴らしいと思います。今後も大変だと思いますが、続けていってほしいです。

4. 保護者への対応

- ブログやクラスだよりで日常の様子やイベントの内容がわかりよかった。保護者からの意見や要望にも誠実に対応してくださっていると感じています。
- コロナ禍で子ども達の様子が伝わりづらい中、クラスだよりを発行して頂き、子ども達の園での様子を少しでも保護者に伝わるよう努力して頂いてありがとうございます。保護者からの疑問や不安などの意見にもすぐに対応して頂いています。

5. 地域社会との連携

- コロナ禍ではありましたが、円山動物園やフルーツ狩り、公園など例年より多く園外保育を実施してくださり、思い出ができました。新規の施設や公園を訪れる際には、事前に保護者の希望や提案を募り、現地のリサーチ、報告、決定をしてくださったので安心することができました。
- 公共施設開放やイベントの見送りが多い中、定期的に園開放を行い、地域の未就園児親子へ遊び場、コミュニケーションの場として貢献されており、保護者の方、子どもたちの満足に繋がられたと思います。
- 例年の行事に加え、いちご狩りが出来る新しい場所を見つけて頂き、自然の中で食べ物を収穫し、自分で見つけて取って味わう、日常にはない貴重な経験が出来た。地域の公園に行く園外保育も安全が確保されており、日常とは異なる楽しさと、見慣れない遊具や公園の地形に五感が刺激され大変充実したものだった。未就園児の親子の交流場としてありがたかった。小学校の先生が見学に来た事は知らなかったが、小学校の先生からどのような視点で見て頂いたのか報告があると、小学校に向けて心の準備が整うのでより良いと感じた。

6. 情報公開

- ホームページでの活動状況の掲載について定期的に更新するのはとても大変だったと思うが、楽しみにしている保護者のために努力されていたと思う。
- 園だよりは持ち物やお願い等、特に提出期日はもう少し強調しても良いと思う。追加や差し替えは緊急メールで対応しても良いと感じた。
- 今年度は園便りの他、クラス便りも配布され、ブログ更新も積極的に行うことにより、以前より子どもの園での生活が分かるようになった。
- ブログに関して、誰でも閲覧可能なシステムのため、保護者だけが閲覧できるもの、全てに公開するものと分け、個人情報保護しつつ発信することが出来るとよりよいと考えます。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。